

# 令和5年度第1回川崎市社会教育委員会議青少年教育施設専門部会 次第

開催日時 令和5年11月24日（金）午後12時30分から

## 議 事

- (1) 令和5年度の事業計画の進捗状況について
- (2) その他
- (3) 川崎市八ヶ岳少年自然の家施設見学（希望される委員のみ）

資料1 青少年教育施設専門部会委員名簿

資料2 川崎市社会教育委員会議規則

資料3 青少年教育施設の概要について

資料4 令和5年度川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん事業報告

資料5 令和5年度事業進捗状況（10月末時点）（黒川青少年野外活動センター）

資料6 令和5年度の事業の進捗状況（川崎市青少年の家）

資料7 令和5年度八ヶ岳少年自然の家 事業進捗状況について

# 資料 1

## 青少年教育施設専門部会委員名簿

委嘱・任命期間	令和4年11月1日から 専門部会の審議又は調査終了まで
---------	--------------------------------

	氏名	現職
	谷 島 義 雄	一般社団法人川崎市子ども会連盟 副連盟長（宮前）
	中 井 川 吉 春	一般社団法人川崎市子ども会連盟 副連盟長
	松 田 基 久 乃	ガールスカウト川崎市連絡会会長
	境 紳 隆	日本ボーイスカウト川崎地区協議会 会長
	山 川 佳 美	川崎市立坂戸小学校長
	元 木 亮 二	川崎市立田島中学校長
	太 田 修 嗣	-
	原 田 尚 幸	和光大学現代人間学部人間科学科教授
	番 匠 一 雅	田園調布学園大学子ども未来学部 子ども未来学科教授

### 指定管理者

青少年の家 佐藤所長、齋藤副所長  
八ヶ岳少年自然の家 名取所長、三井副所長  
子ども夢パーク 友兼所長  
黒川青少年野外活動センター 野口所長

### 事務局

こども未来局青少年支援室  
青少年育成担当課長 柳原 成行  
青少年育成担当係長 上原 有貴

○川崎市社会教育委員会議規則

昭和52年 1 月27日教委規則第 1 号

### 改正

平成12年 2 月 1 日教育委員会規則第 3 号

平成26年 3 月26日教育委員会規則第 5 号

平成28年 1 月28日教育委員会規則第 1 号

川崎市社会教育委員会議規則

(趣旨)

**第 1 条** この規則は、川崎市社会教育委員条例（昭和24年川崎市条例第34号。以下「条例」という。）

第 3 条の規定に基づき、川崎市社会教育委員（以下「委員」という。）の会議（以下「会議」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(選出区分)

**第 1 条の 2** 条例第 2 条第 2 項の委員の選出区分は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 市内に設置された学校の長
- (2) 市内の社会教育関係団体等から推薦された者
- (3) 市内在住の社会教育に関する経験を有する市民
- (4) 学識経験者
- (5) 市内の家庭教育の向上に資する活動を行う者

(議長及び副議長)

**第 2 条** 会議は、委員の互選による議長及び副議長を各 1 名置く。

2 議長及び副議長の任期は、2 年とする。ただし、再選されることができる。

3 議長は、会議を主宰し、これを代表する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき又は議長が欠けたときは、その職務を行う。

(会議の招集)

**第 3 条** 会議は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は、毎月 1 回これを招集する。ただし、会議は、開催の必要がないと認めるときは、この限りでない。

3 臨時会は、委員定数の半数以上の要請があったとき、又は議長が緊急の必要があると認める場合に限り、これを招集する。

4 会議は、議長が招集する。

5 議長は、会議の招集及び議事の事項等を、あらかじめ委員及び教育長に通知しなければならない。

(議事及び議決)

**第4条** 会議は、委員定数の半数以上の出席がなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(会議と教育委員会事務局との関係)

**第5条** 会議は、議案その他に関し必要あるときは、教育長に対し、教育委員会事務局職員の報告及び説明を求めることができる。

2 前項の場合において、関係職員は、会議で意見を述べるができる。

3 会議に必要な庶務は、教育委員会事務局において行う。

(専門部会)

**第6条** 会議は、教育文化会館、市民館、図書館、青少年科学館及び日本民家園並びに青少年の家、少年自然の家及び黒川青少年野外活動センター（以下「青少年教育施設」という。）等の社会教育施設の円滑な運営を図るため、別表の専門部会の欄に掲げる専門部会を置く。

2 専門部会は、臨時委員で構成し、教育委員会が委嘱する。

3 前項の臨時委員は、その者の委嘱に係る専門部会の審議又は調査が終了したときは解職されるものとする。

4 専門部会は、臨時委員の互選による部会長及び副部会長を各1名置く。

5 専門部会は、部会長がこれを召集しその議長となる。ただし、部会長が開催の必要がないと認めるときは、この限りでない。

6 専門部会は、所属する臨時委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

7 専門部会の議事は、出席した臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。

8 専門部会の審議又は調査が終了したときは、当該審議又は調査の結果を会議に報告し承認を得なければならない。

9 部会長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めその説明又は意見を聴くことができる。

(委任)

**第7条** この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

## 附 則

この規則は、公布の日から施行する。

### 附 則（平成12年 2 月 1 日教委規則第 3 号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成12年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 改正前の規則の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

### 附 則（平成26年 3 月26日教委規則第 5 号）

この規則は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

### 附 則（平成28年 1 月28日教委規則第 1 号）

この規則は、平成28年 5 月 1 日から施行する。ただし、第 6 条の改正規定（図書館及び青少年科学館に係る部分に限る。）及び附則の次に別表を加える改正規定（図書館専門部会及び青少年科学館専門部会に係る部分に限る。）は、平成28年 6 月 1 日から施行する。

#### 別表（第 6 条関係）

専門部会	所掌事務	委員の定数	委員の構成
教育文化会館専門部会	館における各種の事業の企画実施について調査審議すること。	10人以内	(1) 区内に設置された学校の長 (2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者 (3) 区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 (4) 学識経験者 (5) 区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者
幸市民館専門部会	館における各種の事業の企画実施について調査審議すること。	10人以内	(1) 区内に設置された学校の長 (2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者 (3) 区内在住の社会教育に関する経

			<p>験を有する市民</p> <p>(4) 学識経験者</p> <p>(5) 区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</p>
中原市民館 専門部会	館における各種の事業の企画実施について調査審議すること。	10人以内	<p>(1) 区内に設置された学校の長</p> <p>(2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者</p> <p>(3) 区内在住の社会教育に関する経験を有する市民</p> <p>(4) 学識経験者</p> <p>(5) 区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</p>
高津市民館 専門部会	館における各種の事業の企画実施について調査審議すること。	10人以内	<p>(1) 区内に設置された学校の長</p> <p>(2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者</p> <p>(3) 区内在住の社会教育に関する経験を有する市民</p> <p>(4) 学識経験者</p> <p>(5) 区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</p>
宮前市民館 専門部会	館における各種の事業の企画実施について調査審議すること。	10人以内	<p>(1) 区内に設置された学校の長</p> <p>(2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者</p> <p>(3) 区内在住の社会教育に関する経験を有する市民</p> <p>(4) 学識経験者</p> <p>(5) 区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</p>
多摩市民館	館における各種の事業の	10人以内	(1) 区内に設置された学校の長

専門部会	企画実施について調査審議すること。		<ul style="list-style-type: none"> <li>(2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者</li> <li>(3) 区内在住の社会教育に関する経験を有する市民</li> <li>(4) 学識経験者</li> <li>(5) 区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</li> </ul>
麻生市民館 専門部会	館における各種の事業の企画実施について調査審議すること。	10人以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 区内に設置された学校の長</li> <li>(2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者</li> <li>(3) 区内在住の社会教育に関する経験を有する市民</li> <li>(4) 学識経験者</li> <li>(5) 区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</li> </ul>
図書館専門 部会	館の運営及び図書館奉仕について意見を述べること。	10人以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市内に設置された学校の教育職員</li> <li>(2) 市内の社会教育関係団体等から推薦された者</li> <li>(3) 市内在住の社会教育に関する経験を有する市民</li> <li>(4) 学識経験者</li> <li>(5) 市内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</li> </ul>
青少年科学 館専門部会	館の運営に関し意見を述べるとともに、事業評価を行うこと。	10人以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市内に設置された学校の教育職員</li> <li>(2) 市内の社会教育関係団体等から推薦された者</li> <li>(3) 市内在住の自然科学に関する知</li> </ul>

			<p>識、経験を有する市民</p> <p>(4) 学識経験者</p> <p>(5) 市内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</p>
日本民家園 専門部会	園の運営に関し意見を述べるとともに、事業評価を行うこと。	10人以内	<p>(1) 市内に設置された学校の教育職員</p> <p>(2) 市内の社会教育関係団体等から推薦された者</p> <p>(3) 市内在住の歴史、民俗に関する知識、経験を有する市民</p> <p>(4) 学識経験者</p> <p>(5) 市内の家庭教育の向上に資する活動を行う者</p>
有馬・野川生涯学習支援 施設専門部 会	施設の運営について調査審議すること。	8人以内	<p>(1) 区内に設置された学校の教育職員</p> <p>(2) 区内の社会教育関係団体等から推薦された者</p> <p>(3) 区内在住の生涯学習に関する知識、経験を有する市民</p> <p>(4) 学識経験者</p>
青少年教育 施設専門部 会	各施設における各種の事業の企画実施について調査審議すること。	15人以内	<p>(1) 市内の小学校及び中学校の教育職員</p> <p>(2) 市内の社会教育関係団体から推薦された者</p> <p>(3) 市内在住の社会教育に関する経験を有する市民</p> <p>(4) 学識経験者</p>

## 青少年教育施設の概要について

資料 3

施設名	川崎市八ヶ岳少年自然の家	川崎市青少年の家	川崎市黒川青少年野外活動センター	川崎市子ども夢パーク
設置目的	恵まれた自然環境の中で、団体宿泊生活を通して心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る。	団体宿泊研修等を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図る。	野外活動による体験を通して、青少年の自主性及び協調性をはぐくみ、もってその心身の健やかな発達に寄与する。	子どもが遊び、及び夢を育む場並びに子どもの活動の拠点及び居場所を提供するとともに、子どもの自主的及び自発的活動を支援することにより、それぞれの子どもの成長及び子どもの地域等における活動への参加の促進に寄与する。
開設年	昭和52年8月	昭和63年7月	平成3年8月	平成15年7月
所在地	長野県諏訪郡富士見町 境字広原12067-482	川崎市宮前区宮崎105-1	川崎市麻生区黒川313-9	川崎市高津区下作延5-30-1
指定管理者	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	かわさき未来応援パートナーズ	特定非営利活動法人 国際自然大学校	川崎市子ども夢パーク 共同運営事業体
主な施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターハウス</li> <li>・アストロハウス</li> <li>・ワーキングホール</li> <li>・野外炊飯場</li> <li>・バーベキュー場</li> <li>・宿泊棟(5棟、定員531名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイホール</li> <li>・オリエンテーションホール</li> <li>・音楽室</li> <li>・研修室</li> <li>・創作活動室</li> <li>・プール</li> <li>・食堂</li> <li>・宿泊室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール</li> <li>・集会室</li> <li>・工作室</li> <li>・厨房</li> <li>・屋外炊事場</li> <li>・グラウンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイパーク(冒険遊び場)</li> <li>・全天候型スポーツ広場</li> <li>・ログハウス</li> <li>・スタジオ</li> <li>・創作スペース</li> <li>・ドリームスペース「ゆるり」</li> <li>・サイクリングロード</li> <li>・川崎市子ども会議事務室</li> <li>・フリースペース”えん”</li> </ul>
延べ利用人数(令和4年度)	86,268人	26,831人	13,133人	68,309人
延べ利用団体数(令和4年度)	576団体	899団体	623団体	990団体

## 令和5年度 川崎市子ども夢パーク事業報告

「『川崎市子どもの権利に関する条例』を具現化する場」「自分の責任で自由に遊ぶ場」「ありのままの自分でいられる場」として、子どもたちが遊びながら、自由に使い方を考えて、「つくり続けていく」施設。

子どもが遊び、夢を育む場ならびに子どもの活動の拠点および居場所を提供するとともに、子どもの自主的および自発的活動を支援することにより、それぞれの子どもに応じた成長および子どもの地域等における活動への参加の促進に寄与するための施設。

### ☆日常の取組み

川崎市子ども夢パークは「子どもの活動拠点」「プレーパーク」「フリースペースえん」の3本の柱で成り立っている。

令和5年度 来場者数は 39,236 人(9月末時点)

参考：令和4年度68,309人、令和3年度60,674人、令和2年度53,717人、平成30年度87,103人

- ◎プレーパーク・・・自分の責任で自由に遊ぶ冒険遊び場を常時開設。土や水、火や木材などを自由に作りかえられる遊び場で、月・水・土・日曜日は火と工具が使用できる。
- ◎フリースペースえん・・・月～金曜日に開設されている登録制の不登校児童・生徒の居場所で、連続・単発の講座などから子ども自身が選択し、一日の過ごし方を決める。
- ◎子どもの活動拠点・・・「スタジオプロジェクト」「横丁会議」など子ども達の自主的な活動の場としている。また「川崎市子ども会議」とも連携している。

### ☆近年の様子 及びそれに伴い日々スタッフが感じている問題点、改善案 等

近年見受けられる様子	浮かび上がってきた問題点	改善案等
全天候広場の騒音対応	夕方以降のバスケット等の利用時の音へのクレーム	遮音カーテンの設置を検討（2023年見積もり中）
認知度のアップ	理念とは違う理解や伝わり方。	スタッフひとりひとりが子どもの権利に立ち返り、大人に丁寧に説明をし続ける他に、権利の看板等を見て頂くよう促す機会を増やす。
	視察、見学件数の増加	Web上のフォームからの申込み/2022年度より月に1回、所長による『合同見学会』を開始。一般的な内容の視察の複数グループに1日に対応/アボなし・土日来所者およびグループへの対応についての検討は今後の課題
	問い合わせ電話の増加	窓口混雑時などの対応が課題
近隣含め不審者情報への懸念	照明設備の届かないエリアへの不安	人感センサーによる照明の点灯設備（2023年設置済）
気候に関わらず、夢パに来たら水遊び、ドロ遊びをする利用者	水遊び、ドロ遊び後の子どもたちの体調管理、着替えなど	温水シャワー（2022年10月設置済）
現状についてタイムリーな発信の必要性	通信環境の改善	インスタを開始（2022年）したが、環境が改善されるともっとタイムリーな対応ができると思われる。
施設内の植栽の育成状況が悪化	施設内の環境管理	施設内の植栽管理に人員または費用が必要
	前面道路向い緑ヶ丘公園の植栽の影響	市への要請が必要
福祉的課題を抱える子どもの増加	スタッフに求められる対応の多様化	地域連携や福祉的視点を持つスタッフの配置を検討

### ☆イベント事業

事業名	実施日	対象	参加者数(人)	内容
ゴールデンウィーク	5/1(月)～5/5(金)	子ども・おとな	1,895	ゴールデンウィークの5日間(5/1～5/5) 特に仕掛けはしながったが、多くの人出が予想されたので、スタッフを多めに配置し見守った。
20周年おめでとうこいのぼり色付け	5/3(水)5/4(木)	子ども・おとな	70	20周年を祝して、大きな黄色い布に来場者が自由に色をつけ、みんなで色鮮やかなこいのぼりをつくった。5/4の夕方、みんなで空に泳がせた。
ミニおさがりバザール	5/1(日)～5/5(木)	子ども・おとな	767	用意した着替え以上に汚れてしまうほど、遊びこむ子どもたちを予想して今年も「おさがりバザール」を開催。大盛況だった。

20周年記念 夢パおたんじょう日まつり～ありがとう・おめでとう・これからも～	7/23(日)	子ども・おとな	1,450	夢パーク オープン20周年を記念して、大友剛氏のコンサートをはじめ、舞台で自分の得意なことを披露する『登竜門』、夢パ恒例の水ドロあそび、20周年グッズ(ベーゴマ・Tシャツ)の販売、この日のためにボランティアの皆さんが育てたひまわり、市内プレパや夢パークで活動する団体の紹介パネル、模擬店の他、夢パ企画段階からの懐かしの写真やパースから歴代のスタッフTシャツ・ベーゴマ、夢パと支えるつくりつづける会の活動の写真などの展示とカフェなど盛りだくさんの企画で、お祝いをした。
KUJIROCK '23 ～spring～	5/28(日)	子ども・おとな	40	スタジオ利用者(出演者)が中心になり手づくりの本格ライブを行ない、小さな子どもから大人まで音楽や会場の熱気を楽しんだ。今回は、5バンド20名の出演者となった。
KUJIROCK'23 ～spring～リハーサル	5/27(土)	スタジオ利用者	20	KUJIROCKの出演バンドの顔合わせから始まり、ライブ会場となる部屋の準備や機材の搬入など段取りを確認。
KUJIROCK '23 ～summer～	8/27(日)	子ども・おとな	52	スタジオ利用者(出演者)が中心になり手づくりの本格ライブを行ない、小さな子どもから大人まで音楽や会場の熱気を楽しんだ。今回は、8バンド34名の出演者となった。
KUJIROCK'23 ～summer～リハーサル	8/26(土)	スタジオ利用者	30	KUJIROCKの出演バンドの顔合わせから始まり、ライブ会場となる部屋の準備や機材の搬入など段取りを確認。
こどもゆめ横丁2022	11/5(日)	子ども・おとな	-	11/5の横丁に向け、出店者の子どもたちが自分たちのお店を建設したり、商品を作ったり、考えたり、食品を販売する店の子どもたちは食品衛生講習を受けたりしています。
横丁を楽しくしよう会(YTK)	4月～	子ども・おとな	70	今年度も「こどもゆめ横丁」をもっと盛り上げるために発足。中学生、高校生を中心にしっかりした意見を出している。
横丁説明会	9/13(水)17(日)・18(月・祝)	子ども・おとな	238	こどもゆめ横丁の出店者向けの説明会。例年通り保護者向けと子ども向けに分けて、横丁会議や商品・建物・税金などについて詳しく説明した。
横丁会議	10月～	横丁出店者	-	10/15から始まる。

## ☆子どもの遊び・活動に関わる事業

事業名	実施日	対象	参加人数	内容
プレーパーク	毎日	子ども・おとな	—	「自分の責任で自由に遊ぶ」冒険遊び場を開設。禁止事項を極力少なくし、挑戦と経験を積み重ねることができるプレーパークを開催した。(月・水・土・日曜日は火おこしや工具が使える)
スタジオ利用	毎日 (5コマ× 2/day)	子ども・おとな (登録制)	684	本格的スタジオA・Bの2室を、音楽(バンド・楽器・歌)の練習に利用できる。
スタジオ講習	月1～3回	子ども・おとな	77	本格的スタジオA・Bの2室の機材や予約・利用の仕方についての講習を行なった。今年度は近隣高校生の受講が増えており、8月には多摩高校生徒用の会を設けて対応した。
スタジオ会「サタデーナイトスタジオ」	月1～2回	子ども・おとな	54	高校生のスタジオ登録が増えたのに伴い、「サタデーナイトスタジオ」への参加者も増えて、KujiRockについての話し合いも活発になってきている。今年度は上期で2回KujiRockを開催できている。

おはなし×2パーク	第2火曜日 第3木曜日	乳幼児親子	43	乳幼児の部屋「ゆるり」を利用し、ボランティアによる乳幼児向けの読み聞かせや手遊びを実施。
親子でもっとあそぼう会	第2水曜日	乳幼児親子	105	乳幼児親子対象の外遊び。プレーパークで水・泥あそびやたき火をしたり、ペンキ塗りや工作など、夢パークにある素材を使って乳幼児親子の外遊びの幅を広げるきっかけになるよう、支援委員会の方々と共に開催している。
金曜あそぼう会	第1・3金曜日	乳幼児親子	174	外遊びに慣れていない乳幼児親子にもプレーパークを楽しんでもらうきっかけづくりに、慣れている子どもたちにも楽しんでもらえるように水・泥あそびや畑、工作など、夢パークにあるもので遊ぶ会。
ゆるりであそぼう、話そう会	第4水曜	乳幼児親子	112	令和元年9月から始まった乳幼児親子向けの事業。ボランティアによる読み聞かせや手遊びの他、育児相談等も受けており、親子が安心して来られる場所づくりを目指している。
おさがりバザール	奇数月1週間	おとな・子ども	3190	着られなくなった(不要になった)子どもの洋服や靴などを無料で譲り合うおさがりバザールを実施した。「もったいない」「よろしかったらどうぞ」の『おさがり文化』を発信した。
きれいいし隊	主に木曜日	子ども・おとな	75	近隣地域(夢パーク敷地外)の清掃を、子どもとスタッフで行なっている。
畑の日	不定期	子ども・おとな	-	シーズンに合わせて、または希望者がいるときなどに子どもたちと収穫や土壌改良していく。6月にはあそぼう会の中でジャガイモを収穫した。
メンテナンスの日	随時	子ども・おとな	12	夢パークに寄付してもらった自転車・三輪車や本などを、大人も子どもも一緒に修理し、物を大切に使用していることを伝えている。
「ふるさと」合唱	随時	子ども・おとな	57	平成23年3月11日に震災があったことを心にとどめておこうと、11日(平日)にプレーパークに集まって「ふるさと」を合唱している。

### ☆連携事業(子ども・市民・地域・行政等)

事業名	実施日	対象	内容
川崎市子ども会議	月2回	川崎市内の子ども会議	川崎市子ども会議の活動拠点。川崎市子ども会議事務室の他、感染症拡大防止のため、別の部屋の利用も併せて調整している。他都市の子ども会議との交流時に夢パークを利用するなど、連携を図った。
夢パーク支援委員会	月1回	ボランティア	開所前から関わっている運営準備会の市民を中心に、夢パークの運営に参画。講座の開催やイベント参加などスタッフと協働で様々な事業を行なった。
夢パークをつくりつづける会(利用者懇談会)	月1回土曜日	利用者	夢パークを利用している団体・グループ・ボランティア・個人と支援委員会・スタッフの利用者懇談会。夢パークの利用についての話し合いや情報交換などを行なった。
高津区子ども・子育てネットワーク会議	-	高津区内の子育て当事者・関係者	区内青少年教育施設として参加。運営法人たまりば理事長の西野が委員長を務める。今年度も開催されていないが、11/25(土)に高津市民館で開催された乳幼児親子向けのイベント「高津子ども・子育てフェスタ」にどんぐりころがす仕掛けを持って、チラシ・パネルとともに参加予定。
高津区地域教育会議	-	高津区内の関係機関	10/6(金)の会議に副所長が参加
かわさき子どもの権利の日事業部会	6~2月	川崎市内で活動する団体等	川崎市子どもの権利に関する条例第5条に「かわさき子どもの権利の日事業」を市と市民が協働して推進することを目的としており、事業部会に委員として参加。今年度は7/21~8/4にアゼリア地下街に夢パークの紹介を展示。
みやまえ子育てフェスタ2023	10/21(土)	乳幼児親子	例年、宮前市民館で行なわれている乳幼児親子向けのイベント。《主催:みやまえ子育てフェスタ実行委員会》
オレンジリボンたすきリレー	10/22(日)	-	虐待防止の啓発を目指したオレンジリボンたすきリレーの中継地点として参加

夢パークつうしん発行	年6回	全市	夢パークの理念や特集、イベントや日常の報告、2か月毎のスケジュールなどを掲載して発行した。(8500部発行)
ホームページ作成・更新	毎月	インターネット	夢パークの理念、イベント、スケジュールなどを発信した。
その他広報	通年	全市	新聞・雑誌などの情報紙やテレビに夢パークの理念やイベントなどを紹介。川崎市や生涯学習財団ホームページへの情報掲載。また市民活動団体ホームページや地域の子育て情報誌に情報掲載。

### ☆研修事業他

事業名	実施日	対象	内容
防災訓練	4/18(火)	施設職員	午前中はスタッフが防災設備・自家発電機・非常放送などについて、使用方法等確認・点検した。午後は日本赤十字の協力を得て救急救命訓練を行った。
	9/5(火)	子ども・おとな	来所者と地震火災を想定した避難・誘導訓練や消火器訓練を行った。
スタッフ研修	月1～2回	スタッフ	夢パークを運営する上で、必要と思われる知識・情報・技術などを習得していく。(救命救急講習、避難訓練、防災シミュレーション訓練、夢パークの理念研修等)
研修等の受け入れ	年間	関心のある人	大学等の社会教育実習、子ども・青少年施設職員研修、学校の職業体験などを受け入れる。
視察・見学等の受け入れ	年間	関心のある人	原則、水・金曜日の午前中を視察受け入れ日として、年間を通して視察を受け入れている。また、見学は随時受け付けている。
スタッフミーティング	月2～3回	スタッフ	夢パークを運営する上で必要な情報交換や協議・話し合いを行なっている。

### ☆自主企画事業

事業名	実施日	対象	内容
出張プレーパーク (スタッフ派遣)	年6回	関心のある方	常設ではないプレーパーク等に依頼によりスタッフを派遣し、子どもの遊びの幅を広げる役を担う。
実習生受入・研修事業	—	関心のある方	福祉系、教育系の大学や専門学校等から実習を受け入れ、子どもの育つ環境の向上や将来子ども現場で働く学生のスキルアップを図る。

### ☆会議

夢パーク連絡会議	第2火曜	各責任者	共同運営事業体担当者、夢パーク所長・副所長、事務担当者を基本とし、必要に応じて各チームや支援委員会の代表が参加。夢パークの運営に関する連絡会議。
夢パーク担当者会議	第3土曜	各担当者	夢パーク所長・副所長、事務責任者、プレーパーク責任者、えん責任者、支援委員会責任者で構成。夢パークの運営に関する決定機関。
夢パーク運営懇話会	10/25(水)	懇話会委員	夢パークの管理運営について、青少年関係団体・教育機関等から推薦の委員と広く意見交換することを目的に設置した。 例年9月・3月に開催しているが、今年度は今回が1回目。

子どもの「いのち」を真ん中に「生きている」ただそれだけで祝福される

そんな場をみんなで作っていききたい

#### 目的（法人定款より）

学校や家庭・地域の中に居場所を見出せない子どもや若者およびその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる居場所をつくり、学校外の多様な学びや育ち・生き方を支援し、自己肯定感を取り戻す人間関係を育む環境と文化を創造することを目的としています。

#### 登録者数（2023年10月24日現在）

	男	女	計
小学生	27	18	45
中学生	27	16	43
高校生年齢	12	6	18
19歳以上	19	16	35
計	85	56	141

#### 活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止をしつつ「居場所の確保」のため開室している。子どもたちと共に、感染症拡大防止の工夫を考え続けている。また、講座やミーティング、保護者会などもオンラインを活用して行なった。

##### (1) 開設時間

月曜日～金曜日 10:30～18:00 祝祭日は休み

\*ただし、火曜日は、10:30～14:00

\*その他、自然野外体験、合宿などあり <(3)参照>

##### (2) 一日の過ごし方

###### 昼食づくり

毎日、その日に食べる人が献立決め、買い物、調理、配膳など自分のできるところや得意なところを担当しながらスタッフと子どもたちが協力して昼食づくりをした。（※えんめし自主サークルと連携）

###### 自分で決めるプログラム

決められたカリキュラムはなく、子どもたち一人ひとりが、自分でその日をどのように過ごすかプログラムをつくります。“この指とまれ”方式で、自主企画をたて、仲間を集めて一緒に活動した。

<過ごし方の例>

- 楽器の演奏や歌 ●自主学习 ●読書 ●パソコン ●絵画 ●染色 ●ダンス ●ビデオ鑑賞
- ものづくり（木工・手芸） ●スポーツ（野球・サッカー・バレーボール・卓球・バドミントンなど）
- 畑づくり ●屋外活動（プレーパークで火おこし・木のぼり・水あそび・泥んこあそび・鬼ごっこなど）

##### (3) 子どもの自主企画による活動

###### ①ミーティング

安心して過ごせる居場所を、自分たちの力で整えていくために、誰もが言いたいことを言える環境づくりに力を注いだ。

- ・ミドルミーティング（毎週1回30分）

###### ②自然体験合宿

豊かな自然の中で寝食を共にし、子どもたちがプログラムやルールを自分たちで決めながら様々な活動を行なう合宿を夏と冬に予定。

○八丈島キャンプ (5泊6日)

場所：八丈島底土キャンプ場 期間 2023年7月30日(日)～8月4日(金) 参加者：43名  
海水浴、牧場見学、山登り、野外炊飯など一日の過ごし方を自分で決め、その日を過ごす。また、参加者ミーティングの開催、必要な共同装備の準備・運搬・片付け、テント干しなども子どもたちとともに行った。

- ・参加者ミーティング、荷物だし 7月10日(月)
- ・テントチェック 7月12日(月)
- ・テント干し、片付け 8月5日(土)

③たまりばフェスティバル実行委員会「プロジェクトX」

講座や自主企画など一年間を通して行なってきた活動の発表の場として、フェスティバルを開催するために、子どもたちが「プロジェクトX(フェスティバル実行委員会)」を立ち上げ、準備を行なう。そこが中心となって仲間を集め、広報、プログラム・パンフづくり、その他の企画・運営を行なう。

たまりばフェスティバル2023 「みんなでわっしょい たまりばフェスティバル2023 39(サンキュー!)」

日時 2024年3月9日(土)

会場 川崎市男女共同参画センター「すくらむ21」

内容 歌、ダンス、創作劇、楽器演奏、ビデオ上映、作品展示等

参加者 350名(見込み)

④自主企画「この指とまれ」(自然観察・野外体験・イベント等)

単発企画(2023年度 実施・参加したもの)

実施時期	企画
5月24日	上野に行こう！<有北さんとアート番外編>
6月7日	どうぶつと出会おう！
6月21日	いっしょと動画づくり
7月2日	2022年度 活動報告会
7月23日	夢パおたんじょう日まつり
7月30日～8月4日	八丈島キャンプ(東京都八丈島)
9月28日・10月11日	みんなの「好き」をみつけよう

連続講座

講座名	実施回数	内容
平センとものづくり～作ってあそぼう～	月1回	平林浩さんとブーメラン、花火、編み機等身の回りにあるものを実際に作り、遊んでみることで物のしくみや科学について学んでいる。
俳優・片岡五郎さんの演劇講座	月1回(下半期)	「西部警察」「水戸黄門」にも何度も出演している俳優の片岡五郎さんと演劇ワークショップ。殺陣の身のこなしや発声のしかたを学んでいる。
ジャンベをたたこう	月1回	西アフリカの太鼓であるジャンベをコンゴ出身のB.B.モフランさんとたたき、楽譜は使わずに体を使って様々なリズムをきざむ。
フォルクローレを演奏しよう	月1回	チャランゴ奏者のTOYO草薙さんとともに、アンデス地方の民族楽器(チャランゴ・ケーナ・サンポーニャなど)をみんなで合わせて演奏をする。
長岡さんのケーナ講座	月1回	ケーナ奏者の長岡竜介さんに、初級者から上級者までそれぞれのニーズにあわせて、南米のたて笛・ケーナの吹き方を教わる。
ジャズダンス	月1回	ジャズダンススタジオ<アミューズ>を主宰している西崎小恵子さんとともに、自分達の好きな曲に合わせてジャズダンスを踊る。
ボイストレーニング	月1回	西崎小恵子さんとともに、大きな声で歌ったり、歌がうまくなるためのボイストレーニングを行なったりしている。
アート	月1回	有北いく子さんとともに、絵を描くだけでなく、木のつるや和紙を使った作品や、カード・カレンダーなどを作っている。
イタリアンパスタ講座	月1回	元イタリアンシェフの小林英紀さんといろんなパスタを作る。包丁の持ち方など基本から教えてもらい、料理の楽しさを知る。
歌講座	月1回	川崎を中心に全国で活躍する桜井純恵さんといろんなジャンルの歌をみん

		なで歌う。
青空美容室	月1回	恵比寿で美容師をしている尾松陽太さんに、髪の毛を切ってもらったり、アレンジをしてもらったりしながら、プロの技に出会う。
ともに生きる	年6回 (下半期)	開発教育協会の方々と、自分達とは異なる文化について知り、学び、そして「ともに生きる」ことについて考えるワークショップ。

#### その他の企画

企画	実施回数
おはよう、スタディ！（学習支援）	週2回
きれいにし隊（近隣清掃）	週1回
バースデーパーティー	月1回
畑づくりプロジェクト 石井さん 渡辺さん	通年
着物の着付け、茶道 吉田弘子さん	随時
おやつづくり	随時
藍染め 松田菊代さん	随時
ものづくり（木工、手芸など） 福峯衆宝さん	随時
本整理し隊	随時
東日本大震災のことをみんなで考えよう	毎月11日（平日のみ）

#### （4）個別学習支援

様々な発達段階にある児童・生徒に対する個別の学習支援（随時）

#### （5）その他の活動

- ①えん開設時間内における、不登校・いじめ等で悩む本人や家族等の相談事業。（電話、来所による個人面談）
- ②保護者とスタッフの語り合う会を、毎偶数月に開催。
- ③会員同士を結ぶ定期情報誌「楽えんだより かわら版」を毎月発行。  
会員たちの原稿を集めた「楽えんだより DX」を年1回発行。
- ④フリースペース活動説明会「フリースペースって、どんなところ？」を年6回開催。

## 令和 5 年（2023 年）度 事業進捗状況（10 月末時点）

## 【1】 主催事業（4 月～10 月）

新型コロナウイルスが第五類に分類され、参加者の申し込みは増えてきた。またコロナ禍中に確立されたチェック体制や、新たな事業形態などもノウハウが積み重なり、短時間での事業実施や登録制度を利用した事業の実施（味噌仕込み、スローライフクラブ）に繋げることができ、「気軽に参加できる事業」への需要も高まったと感じている。また、コロナ禍中に活動できなかった反動で、かなり多くの参加者、利用者から「他者との体験活動」に対する積極的な取り組み姿勢を感じる事ができた。反面、小学校高学年や、中学生など、多感な時期での体験活動の不足に伴い、我々の指導の声掛けや前提条件のレベルを落とす必要があると感じる場面も多々あった（生徒同士のコミュニケーション不足や、運動能力、体力の低下など）。徐々に、前の水準に戻るだろうとは思いますが、戻るまでは「このぐらいはできるだろう」という先入観を修正する必要があるとそう思う。

毎年の人気事業である「GWドラム缶ピザ体験」では、昨年度の「親子単位で調理し食べる」運営方針から、例年の「複数家族でグループを形成し、ピザを作って食べる体験」運営方針へと戻した。募集の時点で、複数家族でグループを形成することを伝達し、抵抗のある参加者は参加を遠慮してもらうよう呼び掛けたが、3 日間で約 300 人の参加者が集まり、コロナ禍以来の賑わいとなった。アンケートからも、「久々に人の集まる活動ができて楽しかった」「衛生に気を付けながらも、またこういった活動ができていい体験だった」との声をいただくことができ、我々の行う事業の価値を改めて再認識することができた。

今年度の上半期は、新たに 3 つの事業を行った。

- 1, 『スローライフクラブ』は事前に登録を行っている登録者に対し、事業の開催が決定した時点でメールを送信し、参加者を募る企画である。タケノコや柿の実など、里山の生活に根差した自然の恵みを、適切なタイミングで受け取り、加工するため、収穫の時期の 1 週間ほど前から募集を開始する。今まで「計画を立てて日程を決めることができなかった」プログラムの事業化に成功した。
- 2, 『親子で叩き染め体験』は親子がコミュニケーションをとりながら自然と触れ合える企画として実施した。センターに自生している植物の名前や、葉の様々な形など、自然観察も兼ねており、最後には自分たちで染めたトートバックを持ち帰ることができる。親も子も夢中になってクラフトに取り組む姿勢を見ることができた。
- 3, 『黒川テント村』は、キャンプに行きたいが、いきなりキャンプ場は難しいと感じるアウトドア初心者に向けた企画として実施した。駅から徒歩 5 分、コンビニエンスストアや業務スーパーが近隣に存在し、いざというときは宿泊の施設に逃げ込むこともでき、キャンプに慣れた職員が勤務しているという特性を活かし、「手ぶらでもキャンプができるテント村」というテーマで実施。利用者の少なくなるお盆期間に実施したが、台風の影響でキャンセルが相次いだ。それでも、日程をずらすなどして、5 つの家族にご参加いただいた。職員の提供する簡易アクティビティ、「竹水ようかん作り」や「トレイルカメラで野生動物観察」も好評だった。

下半期には大型事業である「自然体験フェスティバル」を控え、「しめ縄飾り作り」など、ニーズの高い事業を実施予定であり、コロナ禍を乗り越えて活動を続ける施設として、活気を取り戻すべく、様々な新たな企画も検討中である。

事業名	開催日時	定員	参加者 (実数)
ネイチャーボランティア	4/9	15 名	9 名
	5/7		4 名
	6/4		4 名
	7/2		5 名
	8/6		6 名
	9/3		5 名
	10/8		5 名
	11/5		
	12/3		
	1/7		
	2/4		
	3/3		
森のようちえん (親子でおさんぽくらぶ) ※2~3 歳児 いずれも水曜日	6/28	15 名	12 名
	10/25		4 名
	2/28		
	3/13		
森のようちえん (のあそびくらぶ) ※年少~年長	5/17	15 名	13 名
	5/31		10 名
	6/14		11 名
	6/28		10 名
	7/12		8 名
	9/13		14 名
	10/11		11 名
	10/25		12 名
	11/1		
	11/15		
	12/6		
	12/20		
	2/7		
	2/28		
3/13			
森のようちえん (いちにちのあそび) ※年少~年長	9/2	15 名	14 名
	10/7		8 名
	11/25		
	12/26		
	2/23		

焚火 café	4/20	13 組	5 名
	5/18		7 名
	6/29		9 名
	9/19		6 名
	11/30		
	12/20		
	3/22		
オールナイト 焚き火カフェ	5/18～	5 組	2 組 6 名
	5/19		
	11/30～		
	12/1		
親子カフェ ※乳幼児と保護者	5/26	10 組	8 名
	9/22		中止 (集約ならず)
	12/6		
スローライフクラブ	4/15	15 名	8 名
	6/22		5 名
里山メンマ作り教室	4/23	20 名	14 名
GW ドラム缶ピザ体験	5/3	各日 30 組 100 名程度	105 名
	5/4		97 名
	5/5		75 名
親子で葉っぱのたたき染め チャレンジ!	5/28	40 名	30 名
流しそうめんキットづくり	7/30	20 名	20 名
親子ツリークライミング 体験	10/21	各日 40 名の親子	20 名
	10/22		21 名
あそび力アップ! 春デイキャンプ	5/14	20 名	17 名
あそび力アップ! 夏デイキャンプ	7/9	20 名	16 名
あそび力アップ! 秋デイキャンプ	11/12	20 名	
あそび力アップ! 冬デイキャンプ	2/18	20 名	
大人のための珈琲焙煎講座 ※18 歳以上	7/5	10 名	9 名
大人のためのスパイス講座	10/18	20 名	22 名
大人のためのビントゥバー ーチョコレート作り	2/2	10 名	中止予定 (下水道工事のため)

BBQ インストラクター 上級検定	6/25	30 名	29 名
指導者のための プログラム体験会	6/11	10 名	5 名
くろかわしめ縄飾り作り	12/10	午前午後各 20 組 50 名親子	
黒川テント村	8/14～18	各回 5 組 15 名	合計 12 名
親子防災デイキャンプ	9/24	30 名	31 名
くろかわ味噌作り	2/10 2/11 2/12	各日 30 名	中止予定 (下水道工事のため)
自然体験フェスタ	3/10	300 名	

【2】今年度の運営から見つけた課題と、来年度に向けた変更点

・施設運營業務について

→コロナ禍が明け、利用者も戻ってきているが、土日宿泊の利用が集中し、利用をお断りしている場面が増えている。今後、平日に行えるプログラムを充実させ、利用者の分散を図る。

・施設管理業務について

→どんぐり山は子供たちにも大人気のフィールドだが、ナラ枯れ、落枝の影響で立ち入り禁止箇所が増えてきている。1月の休所期間中に、整備を行う予定。

→2024年の1月に浄化槽撤去の工事を行うにあたり、配管を撤去するので、1月中は休所期間となる。

→施設全体の経年劣化によって、水道管の破裂や柱の腐食などが起きている。修繕には大規模な工事が必要となるため、現状では対処療法を行っている。

**【3】指導依頼**

No.	日程	事業名
1	2023/4/1	
2	2023/4/3	
3	2023/4/5	
4	2023/4/8	
5	2023/4/12	
6	2023/4/23	
7	2023/4/25	
8	2023/4/26	
9	2023/4/28	
10	2023/5/14	
11	2023/5/21	
12	2023/5/28	
13	2023/5/29	
14	2023/5/30	
15	2023/6/2	
16	2023/6/6	
17	2023/6/7	
18	2023/6/17	
19	2023/6/17	
20	2023/6/28	
21	2023/7/7	
22	2023/7/14	
23	2023/7/16	
24	2023/7/27	
25	2023/8/1	
26	2023/8/2	
27	2023/8/28	
28	2023/9/15	
29	2023/9/17	
30	2023/9/18	
31	2023/9/19	
32	2023/9/20	
33	2023/9/23	
34	2023/9/23	
35	2023/10/1	
36	2023/10/7	
37	2023/10/8	
38	2023/10/10	
39	2023/10/14	
40	2023/10/28	

【4】利用状況

11月1日時点の数字となる。

2022,23年度川崎市黒川青少年野外活動センター利用状況

●月別利用者数および団体数、利用率、稼働率の推移

	利用団体数					利用延べ人数			
	H30年度	22年度	23年度		前年比	H30年度	22年度	23年度	
			予約数	実数				予約数	実数
4月	66	53	62	52	98.1	2638	1,007	1,450	1,400
5月	84	58	72	65	112.1	2599	1,517	1,892	1,710
6月	84	63	69	64	101.6	2567	1,327	1,632	1,497
7月	77	72	62	57	79.2	2298	1,722	1,728	1,641
8月	58	53	57	48	90.6	2645	1,486	1,820	1,710
9月	76	59	54	48	81.4	2726	1,234	1,221	1,146
10月	88	68	60	53	77.9	2330	1,305	1,242	1,140
11月									
12月									

	利用率(%)				稼働率(%)			
	H30年度	22年度	23年度	前年比	H30年度	22年度	23年度	前年比
4月	84.4	45.6	63.5	139.3	96.7	89.6	90	100.4
5月	110.3	67	75	111.9	93.5	97	97	100.0
6月	113.8	60	67.9	113.2	100.0	97	97	100.0
7月	97.5	76	71.9	94.6	96.8	100	100	100.0
8月	112.2	63	72.5	115.1	100.0	97	100	103.1
9月	119.6	56	52.8	94.3	100.0	90	100	111.1
10月								
11月								
12月								

**【算定方法】**  
 □利用率=利用延べ人数/開所日数×定員(76名)  
 □稼働率=利用日数/開所日数

令和 5 年 11 月 14 日

「川崎市青少年の家 令和 5 年度の事業の進捗状況」

1. 利用状況

(1) 利用者数

	対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和5年度	日帰り	848	1,099	1,318	1,603	1,122	920	6,910
	宿泊延べ	1,379	1,439	568	2,439	3,712	1,260	10,797
令和4年度	日帰り	814	780	1,369	1,052	1,508	986	6,509
	宿泊延べ	811	587	806	1,643	1,467	666	5,980
対令和4年度	日帰り	<b>34</b>	<b>319</b>	<b>△ 51</b>	<b>551</b>	<b>△ 386</b>	<b>△ 66</b>	<b>401</b>
	宿泊延べ	<b>568</b>	<b>852</b>	<b>△ 238</b>	<b>796</b>	<b>2,245</b>	<b>594</b>	<b>4,817</b>
平成30年度 (2018年度)	日帰り	901	1,085	795	1,198	842	1,069	5,890
	宿泊延べ	1,555	1,453	1,839	3,733	4,003	2,314	14,897
対平成30年度	日帰り	<b>△ 53</b>	<b>14</b>	<b>523</b>	<b>405</b>	<b>280</b>	<b>△ 149</b>	<b>1,020</b>
	宿泊延べ	<b>△ 176</b>	<b>△ 14</b>	<b>△ 1,271</b>	<b>△ 1,294</b>	<b>△ 291</b>	<b>△ 1,054</b>	<b>△ 4,100</b>

(2) 団体数

	対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
令和5年度	日帰り	47	61	56	63	47	54	328
	宿泊	22	16	9	37	54	22	160
令和4年度	日帰り	47	48	66	50	65	60	336
	宿泊	15	10	10	25	25	18	103
対令和4年度	日帰り	<b>0</b>	<b>13</b>	<b>△ 10</b>	<b>13</b>	<b>△ 18</b>	<b>△ 6</b>	<b>△ 8</b>
	宿泊延べ	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>△ 1</b>	<b>12</b>	<b>29</b>	<b>4</b>	<b>57</b>
平成30年度 (2018年度)	日帰り	37	48	42	42	36	47	252
	宿泊	24	21	28	45	57	36	211
対平成30年度	日帰り	<b>10</b>	<b>13</b>	<b>14</b>	<b>21</b>	<b>11</b>	<b>7</b>	<b>76</b>
	宿泊延べ	<b>△ 2</b>	<b>△ 5</b>	<b>△ 19</b>	<b>△ 8</b>	<b>△ 3</b>	<b>△ 14</b>	<b>△ 51</b>

令和 5 年 10 月 31 日現在

※コロナ・改修工事の影響を受けていない 2018 年度比較を追記

(3) 対前年度の増減要因

- ・日帰り利用、宿泊利用とも上半期累計で対前年を上回っているが、まだ新型コロナ発生前の実績には届いていない。
- ・新型コロナが理由によるキャンセルはほとんど発生が無くなってきている。

## 2. 主催事業

### (1) 実施状況

#### 【継続事業】

#### 1. 幼児向け事業（1～6歳）（保護者）対象

のびのびクラブ（みつばクラス2～3歳親子）（よつばクラス4～6歳）、おはなし会、親子リトミック（1～3歳親子）、親子で水遊び（1～6歳親子）、親子ふれあい動物園（1～6歳親子）、幼児体操教室（3～4歳部）（5～6歳部）

#### 2. 小学生・中学生向け事業（6～15歳）

手作り体験クラブ、チャレンジ体験クラブ、英語教室、ほのぼのスクール、プール開放、親子手打ちうどん教室、おもしろ実験教室、星空体験教室、スキー教室（八ヶ岳少年自然の家と連携）

#### 3. 一般向け事業（16歳以上）

ピラティス&ジャイロキネシス、サーキットエアロ、ノルディックウォーキング、ユースワーカーズ倶楽部、シニアサポーターズ

#### 4. 青少年の家フェスタ

#### 【今年度の新規事業】

#### 1. むしとりチャレンジ（幼児向け）

#### 2. サマーキャンプ

#### 3. おとなの珈琲焙煎教室

#### 4. おりがみひろば

#### 5. ノルディックウォーキングお花見会

#### 6. スプリングキャンプ

## 3. 施設設備等の管理運営状況

### (1) 施設・設備等修繕

- ・B1シャワー室（男女）タイル壁補修
- ・手洗い器、トイレ漏水、小便器具皿修繕
- ・消防点検指摘 是正工事
- ・2F宿泊棟201号室 感知器交換
- ・1Fプレイホール蛍光灯交換（高所作業）補修
- ・プール排水管修繕

### (2) 環境美化等

- ・園庭・花壇等の整備
- ・樹木幹枝処理作業
- ・1Fプレイホール移動観覧席修繕

- ・ 1F 客室廊下壁クロス貼替
- ・ プールサイド床部分シート貼替、シール打ち補注
- ・ プール洗浄（臨時特別清掃）
- ・ 1F 女子トイレ ウォッシュレット取替修繕

(3) 下半期改修工事（川崎市）

- ・ 排煙窓補修工事（B1 音楽室、1F オリエンテーションホール）【10/1～5 実施】
- ・ 受変電設備改修工事（キュービクル更新）【1～2 月実施予定、1/29～2/9 予約受付停止】
- ・ 自動制御設置改修、排水溝真工事【1～3 月実施予定】
- ・ 非常用発電設備改修工事【2～6 月実施予定】
- ・ 排気ファン補修工事（電気室・空調機械室・厨房）【下期予定】

## 令和 5 年度 八ヶ岳少年自然の家 事業進捗状況について

令和 5 年 11 月 15 日(水)

## 1. 利用状況【4月～10月】

	参加者数	団体数	実人数	延べ人数
一般・グループ・家族	平成 30 年度	137	1,005	2,590
	令和 3 年度	85	494	1,272
	令和 4 年度	135	652	1,575
	<b>令和 5 年度</b>	<b>130</b>	<b>560</b>	<b>1,457</b>
青少年団体	平成 30 年度	81	3,888	11,310
	令和 3 年度	16	576	1,632
	令和 4 年度	37	1,515	4,417
	<b>令和 5 年度</b>	<b>67</b>	<b>3,350</b>	<b>10,089</b>
学校団体	平成 30 年度	122	15,459	46,218
	令和 3 年度	75	9,422	28,266
	令和 4 年度	122	15,169	45,369
	<b>令和 5 年度</b>	<b>119</b>	<b>14,519</b>	<b>43,773</b>
市主催	平成 30 年度	3	606	1,918
	令和 3 年度	0	0	0
	令和 4 年度	3	256	606
	<b>令和 5 年度</b>	<b>4</b>	<b>312</b>	<b>677</b>
合計	平成 30 年度	343	20,958	62,036
	令和 3 年度	176	10,492	31,170
	令和 4 年度	298	17,648	52,038
	<b>令和 5 年度</b>	<b>320</b>	<b>18,741</b>	<b>55,996</b>

- ・新型コロナウイルスが 5 類に引き下げられ、コロナ前に近い利用人数に回復。
- ・小中学校自然教室については予定通り全校を受け入れ、社会教育団体については夏休み期間を中心に予約通りの受け入れを行った。
- ・新型コロナウイルスの感染により利用団体内でのキャンセルが見受けられた。
- ・新型コロナウイルスの関連で利用があった市外の学校利用が無くなった事に加え初任者研修の中止など大勢で利用される団体の利用人数減の影響が大きかった。

※11月は受水槽入れ替え工事、第 1 浴室、3浴室のろ過機入替工事、第2浴室水漏れ工事に伴い休館及び利用制限を実施。

※要望が多い事から、年末年始 12 月 28 日～1 月 4 日は休所日を変更し受け入れを実施。

## 2. 自然教室

4月より中学校5校、小学校114校の受け入れを行い 合計 15,034 名の受け入れを行った。  
新型コロナウイルスが5類になった事により、通常時と同様な受け入れを実施。  
微熱や薬を使用し熱を下げて参加するなど、体調管理が不十分のまま参加する児童・生徒が多く  
保護者の迎えや病院受診送迎の対応が目立った。

※11月10日(金)、11日(土)1泊2日で冬期自然教室の实地踏査を実施。

※1月11日(月)より冬期自然教室(中学校)の受け入れ開始。

## 3. 主催事業

【ふじみ星空観察会】 宿泊者や地元住民などを対象に季節に合わせた星空を観察し学習

ふじみ星空観察会 4月～10月

	実施日数	参加人数
平成30年度	6	62
令和3年度	6	58
令和4年度	7	173
令和5年度	7	177

※人数制限を30人前後から50人前後に緩和。

【ふれあい星空観察会】 自然教室以外の施設利用者を対象に星空観察を実施

ふれあい星空観察会 4月～10月

	実施日数	参加人数
平成30年度	40	1,703
令和3年度	10	131
令和4年度	48	1336
令和5年度	59	2168

※人数制限を30人前後から50人前後に緩和。

【ふれあいサマーキャンプ】 8/7～8/9 53人

市内の子供たちが夏休みを利用し、八ヶ岳少年自川崎  
然の家に宿泊をしながら富士見町の自然散策と地元の  
小学生と交流を実施。

【秋の雲海観察と入笠山トレッキング】 日程が施設修繕工事と重なる可能性があり中止。

【八ヶ岳自然観察会】 利用者の要望に合わせ所内の自然観察を随時実施

#### 4. 八ヶ岳少年自然の家の運営について

##### ○安全な管理運営体制

- ・施設の老朽化に伴い修繕工事などを随時実施。
- ・土砂災害警戒エリア、特別警戒エリアに指定されていることから、土砂災害についての研修会及び訓練を実施。
- ・安全委員会を実施し施設やプログラムに於けるリスクの抽出と管理体制の向上を行った。
- ・施設内の危険木の枝払い及び伐採を実施。
- ・活動プログラムの随時更新

##### ○施設の管理に関する取組み、老朽化対策

##### 1、施設・設備修繕

第2浴室ろ過機部品交換修理	花棟	第2浴室機械室
公衆回線・ひかり回線変更工事	センターハウス	
U型グレーチング2枚交換	第2駐車場	
外灯スイッチBOX交換工事	あかまつサイト	
バルブ交換(床給水用)	センターハウス	甲斐駒
電気設備保全補修(ヒューズ交換)	全棟	
トイレロータンク流動弁水漏れ修理	全棟	
グリストラップ蓋交換	星の棟	北岳
非常灯交換工事	鳥の棟	
殺菌庫修理	バーベキュー場	
タイルカーペット張替え	センターハウス	甲斐駒
昇温ボイラー整備	星の棟	第3浴室機械室
ボイラー煤スラッジ洗浄	星の棟	第3浴室機械室
基地局非常用地区電池交換	本郷小	
分電盤表示灯交換	鳥の棟	
昇温ボイラー圧力計交換	花の棟	第2浴室機械室
給水加圧ポンプ圧力計交換	花の棟	第2浴室機械室
給湯ボイラー視窓交換	花の棟	第2浴室機械室
給湯ボイラー オイルフレキホース交換	花の棟	給湯室
第3浴室機械室給湯ボイラーオイルフレキホース交換	星の棟	第3浴室機械室
洋便器便座取替修繕	センターハウス	男子トイレ
宿泊棟畳表替え	鳥の棟	2階
雨漏り修繕工事	ワーキングホール	入口付近

- ・施設老朽化に伴い各所で修繕工事が必要になっており、緊急性や安全性を考慮し優先順位をつけながら工事修繕を実施。

## 2、その他管理

- ・所内各所の枯木、老木の伐採
- ・植木の剪定
- ・施設内の落ち葉除去(全体作業11月中旬から12月上旬 複数回)

### ○その他

- ・今年度もかわさき市民祭りに参加し自然の家をPR、クラフトやパンフレット配布を行い利用の促進を実施。
- ・ホームページや SNS を使った情報の発信を随時実施。
- ・近隣観光施設等へのパンフレット配布を実施。

## 5. 新型コロナウイルス対策5類引移行後の対応について

- ・5 類に移行後はインフルエンザと同様の基本的な感染症対策実施。
- ・スタッフによる発熱者の病院送迎を再開
- ・施設内のアルコール消毒は継続して設置
- ・食堂におけるアクリルパネルはコミュニケーションがとりにくい事や食堂利用の効率化のため廃止した。

## 6. 課題への取り組み及び成果

- ・土砂災害特別警戒区域に入ることから、避難マニュアルの作成、避難誘導訓練、土砂災害の意識向上研修を実施、マニュアルについては訓練等を元に随時改定。
- ・建物が広大で複雑なため、多くの利用者が迷うことが多かったため、建物各所の床に案内や位置表記を行いスムーズな行動が出来るよう改善を実施。
- ・課題別学習の各プログラムでは季節や天候により学習内容が少なくなることから、パワーポイント活用及び内容を充実させ学習指導を実施。
- ・物価上昇による食事メニューの内容変更及び料金改定を実施。

## 7. 研修及び訓練実施状況

- ・安全管理研修(アドベンチャー教育)(4月) ・土砂災害研修(4月)
- ・土砂災害避難訓練・研修(5月) ・リスクマネジメント研修 (5月)
- ・ネイチャーゲームリーダー研修(6月)
- ・安全運転管理者講習(8月) ・食品衛生講習(8月)
- ・救急訓練(12月 実施予定) ・消防訓練(12月 実施予定)

## 令和5年度 八ヶ岳少年自然の家事業計画

### 1. 課題及び運営に関する目標

#### ① 活動プログラム

自然に親しみながら野外活動ができるよう、既存の課題別学習の見直と充実を図り学校や家庭では得がたい体験の場をつくる。

また、八ヶ岳ならではの活動プログラムを取り入れ、学校に限らず一般家族・子供・成人・高齢者でも参加しやすい活動プログラムの提供に努めます。

#### ② 建物・設備の点検及び維持・管理

施設の老朽化が進み、数多い破損、汚れ、故障などを修繕し、利用者が快適に過ごせるような環境整備を積極的に行います。

また、日々実施している点検により設備異常、修繕箇所を早期発見し迅速に修繕を行います。長寿命化を念頭に、職員が対応可能な案件については積極的に修繕を進めます。

#### ③ 屋外環境整備

樹木の成長に伴う枯木、枯れ枝、強風時の倒木などの危険排除に努めます。

また、屋外施設及び樹木の整備などを行い雰囲気作りを進めます。

### 2. 利用促進

かわさき市民祭りなどのイベント参加やパンフレット配布、インターネット上での情報発信など、積極的な利用促進に努めます。

### 3. 安全管理

- ・建物や敷地内での安全面に配慮した環境整備を進め、利用者が安心して活動出来る施設づくりを行います。
- ・活動プログラムにおいて安全委員会を毎月実施、リスクの抽出及び検討と改善を行い安全な体験活動の提供を目指します。

### 4. 職員教育

積極的に研修、講習、訓練を行い職員の意識向上とスキルアップに努めます。

- ・リスクマネジメント講習
- ・救急救命講習
- ・火災予防訓練
- ・防災教育と訓練
- ・SDGs講習
- ・食品衛生講習
- ・自然体験活動指導者講習 ほか